

# 2016 Topics



## 男子テニス選手たちが、国の威信をかけて戦う 国別対抗戦デビスカップ

ワールドグループ残留を決めた日本選手団 写真提供：佐藤ひろし

## デ杯ワールドグループ 残留を決める！

参加国はすべて実力や実績によって、レベル順にグループ分けられており、その中の最強16か国がワールドグループを構成し、この16か国の勝ち抜き戦によってカップが争われる。このワールドグループ残留をかけウクライナと対戦し5-0で大勝利。

2016年9月16日(金)～18日(日) 観テニスセンター				
日本 5-0 ウクライナ				
1	○	ダニエル太郎	7-6(4), 7-6(2), 6-1	セルジー・スタホフスキー ●
2	○	西岡良仁	6-4, 5-7, 6-4, 7-5	イリヤ・マルチェンコ ●
3	○	錦織圭 杉田祐一	6-3, 6-0, 6-3	ダニロ・カレニチェンコ ● セルジー・スタホフスキー ●
4	○	ダニエル太郎	3-6, 7-5, 6-1	イリヤ・マルチェンコ ●
5	○	西岡良仁	6-2, 6-2	アルテム・スミルノフ ●

## 全米オープンテニス2016 錦織選手マレーを破る快挙!!

アメリカ・ニューヨーク市郊外にあるフラッシング・メドウのUSTA ナショナル・テニス・センターを会場として、毎年8月2週間の日程で行われている。観客動員数や賞金総額はテニス競技大会で最大である。

リオ・オリンピックでナダルを、そして全米オープンではマレーを破る快挙を成し遂げた。

### 全米ジュニア Best 4 の綿貫選手

ジュニア男子シングルの部に出場した綿貫陽介(18歳フリー、身長181cm、63kg)

テニス界では知られた綿貫3兄弟の末っ子。1月にプロ宣言(世界ランク686位)。

ジュニア世界ランキングは最高2位という次世代を担う日本のホープだ。

写真提供：テニスクラシック



1回戦	ベンジャミン・ベッカー(ドイツ)	6-1 6-1 3-6 6-3
2回戦	カレン・カチャノフ(ロシア)	6-4 4-6 6-4 6-3
3回戦	ニコラ・マウ(フランス)	4-6 6-1 6-2 6-2
4回戦	イボ・カルロビッチ(クロアチア)	6-3 6-4 7-6
準々決勝	アンディ・マレー(イギリス)	1-6 6-4 4-6 6-1 7-5
準決勝	スタン・ワウリンカ(スイス)	6-4 5-7 4-6 2-6

## パン・パシフィック 大坂なおみ 大活躍



表彰式 準優勝の大坂なおみと優勝のウォズニアッキ

女子テニスの東レ パン・パシフィック・オープン(本戦2016年9月19日～25日有明テニスの森公園)

この大会格上を相手に大金星をあげてきた大坂なおみ選手(18歳)は、シングルス決勝で元世界ランク1位のキャロライン・ウォズニアッキ(26=デンマーク)に5-7、3-6のストレートで敗れ、ツアー初優勝を逃した。世界ランキング66位からこの活躍で世界ランク47位に大躍進、今後の活躍に期待が集まる。

## 若手の台頭 16歳以下の ICJrチャレンジ世界大会 (IC U16 Junior Challenge Worldwide Finals)



試合風景



フェアプレー賞の安藤優希選手

日本チームはアジア予選を勝ち抜き、決勝大会総当たり戦(それぞれの地域の勝者、スペイン、アメリカ、南アフリカ、アルゼンチン、フランス、日本)にチャレンジした。

開催時期 2016年9月5日(月)～9日(金) 会場 モンテカルロカントリークラブ

日本チームメンバー  
男子 No.1 田形諒平、大成高等学校(狛江インドア)  
No.2 武藤洸希、大成高等学校(IHSM)  
女子 No.1 細木祐佳、新渡戸文化高等学校(武蔵野ドーム)  
No.2 安藤優希、板橋区立赤塚第二中学校(JITC)

最終成績 5カ国と対戦し4勝1敗で2位

日本チームのプレーの内容、フェアプレー、態度の良さ、そして諦めない姿が高く評価された。また男女各1名のスポーツマンシップ賞に安藤優希選手が選ばれた。

写真提供：佐藤ひろし